

2021年3月22日
ソニー株式会社
株式会社NTTドコモ

ソニーとドコモ、2,500 キロ離れた日本とグアム間で 5G を活用したエンタテインメント車両の遠隔操作に成功

ソニー株式会社(以下、ソニー)と、株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、グアム島にあるエンタテインメント車両 Sociable Cart(ソーシャブルカート)「SC-1」を約 2,500 キロ離れた東京から、5G を活用して遠隔操作する実証実験に成功しました。5G の低遅延、大容量、高速の特長を活かしリアルタイムで車両の周囲の映像を都内にあるソニーの開発拠点に伝送して操作しました。この通信にはドコモの 100%子会社であるドコモパシフィック社の 5G を利用しました。



SC-1 は、ソニーが開発したエンタテインメント車両です。実証実験では、SC-1 から車両の周辺映像を東京に送り、東京にいるドライバーが映像を見ながら運転しました。この実験はグアムの検証用屋外施設において、乗客を載せた状態で行いました。

SC-1 は、車両前後左右に人の視覚能力を超えるイメージセンサーを搭載しています。360 度全ての方向にフォーカスが合わせられた映像を車内のディスプレイに映し出すことで、車両周囲の環境を一度に把握できます。また、搭載したイメージセンサーの超高感度な特性と内部に設置されたディスプレイの高い解像度により、昼夜を問わずライトなしに車両周囲を認識しながら運転できます。

自動運転時代の到来により遠隔運転や監視の重要性がより高まっています。国境を超えた遠隔運転により、時差を利用したグローバルなオペレーションが可能となります。

ソニーはリアリティ(Reality)、リアルタイム(Real-time)、リモート(Remote)を追求する「3R テクノロジー」によって、人々にエンタテインメントの感動とそれを支える安心を届けることで新たな価値創出をめざしています。ソニーは SC-1 を利用した各種クルージングサービスを国内で展開しており、今後「3R テクノロジー」も活用することで「移動を楽しむ」サービスを拡充し、ヒトとクルマの新たな楽しみをさまざまな領域へ提供していきます。

ドコモは、本実証実験で得られた成果を活かし、海外での新たな旅行体験や移動体験の創出などエンタテインメント分野での価値創出、および働き方改革をはじめとする社会課題解決をめざしてまいります。

本件に関する報道関係からのお問い合わせ先	
ソニー株式会社 広報部 Sony.Pressroom@sony.co.jp	株式会社NTTドコモ 国際事業部 イノベーション開発 global-pr@nttdocomo.com